

8月の行事予定

- 12日(土) お盆合同保育(いちよの森こども園)
- 14日(月) お盆合同保育(あすなろ保育園)
- 15日(火) お盆合同保育(さくらが丘保育園)
- 17日(木) 避難訓練
- 17日(木)～18日(金) なかよしキャンプ(卒園児)
- 25日(金) 誕生会・そら組キャンプ説明会



※行事は変更する場合があります。ご了承ください。

9月の行事予定

- 7日(木)～8日(金) そら組キャンプ
(そら組がさくらが丘保育園、さくらんぼ保育園と一緒に、
国立吉備青少年自然の家に1泊2日のキャンプに行きます。)
- 11日(月) 内科検診
- 19日(火) 運動会おひろめ会
- 20日(水) 誕生会
- 22日(金) 避難訓練

やまびこだより

社会福祉法人岡山こども協会 とよた保育園

赤磐市松木549 TEL 995-0244

令和5年8月1日発行

301号



時計の針が

現在、そら組のこどもたちへ就学に向けて、時計に慣れることができるようにと思い「時計の長い針が5になったら片付けするよ」「時計の長い針が3になったらごちそうさまをするよ」と声を掛けるようにしています。まだ、時間の理解が5歳児のこどもたちには難しいため、「長い針が〇〇になったら」と伝えるようにしているのですが、少しずつ自分で時計を見ながら生活をするこどもが増えており「あ、5になったから片付けをしよう」と、こども同士で声を掛ける姿も見られるようになってきました。

先日、外で遊んでいた時に片付けの時間を伝え忘れていました。すると、「今日は何になったら片付ける?」とAさんが保育者に尋ねました。その時に「〇〇だよ」と答えてもよかったのですが「長い針が何の数字になったらがいいかな」と返してみました。すると、Aさんは「ご飯に行くのが12になったらだから10に片付ける?」と自分で考え、答えていました。「じゃあそうしようか」と話をし他の子へ「今日は10になったら片づけだよ」と伝えていました。

普段伝えている時計の針に対して、時計を見ようとする意識が根付いていることに嬉しく感じた瞬間でした。豊田小学校ではチャイムが鳴りません。自分で時計を見て行動をしています。就学までに時計をみて時間を考え、こども自身が生活を主体的に進めることができるようになったらと思います。

岡本 未来

職員紹介&いいことさがし

井上 隆雄 (にし組)

- ① スノーボード
- ② 料理、旅行、スタバ巡り
- ③ 学生の頃に親に買ってもらった原付ももう今年で9年目。そろそろ新しい物に買い時なのですが、車を買うべきなのかと検討中です。

- ① 特技
- ② 趣味
- ③ ひとこと

↓お互いのいいところを伝え合っています↓

吉富 結衣 (にし組)

- ① うたを歌うこと
- ② カフェ巡り
- ③ 1年目でまだまだ未熟ですが、こどもたちと共に成長できるように頑張ります。

井上さんは持ち前の明るさでこどもたちを盛り上げ引っ張って下さいます。そんな明るさに私も助けられることがたくさんあります。(吉富より)

吉富さんはこどもたち一人ひとりに丁寧に関わろうとし、何事にも一生懸命してみようとする根気強い人です。そんな彼女の姿から「初心忘れるべからず」と私も学ぶことがありますね。(井上より)

～みんなでこどもを見守る～ 架け橋プログラム



「食育」の場面を見ていただきました

ホールでみんなで♪うらじゃ音頭♪を踊りました



豊田小学校・磐梨小学校の先生方に保育園に来ていただき、こどもたちと遊んだり食事をしたりして一緒に過ごしました。

朝、セミ捕りに夢中になっているこどもたちと職員の姿を見て、「1年生(卒園児)は、だから虫捕りが上手なんですね。」と納得されていました。園の様子や、どんなことを大切に日々の保育をしているかを知っていただくよい機会になりました。



とよた保育園ホームページ URL とQRコード
<https://toyota.okayamakodomokyoukai.jp>

つくしグループ

水あそびを初めて約1カ月が経ちました。水に親しむ中で、だんだんとあそび方がダイナミックになっています。

ウォーターライダーをした後、砂場に水がたくさん溜まっており、保育者が水たまりの中に勢いをつけ、ジャンプをして飛び込む姿を見ていた子どもたち。「楽しそう」「やってみよう」と自然と列ができ、いつの間にか「一緒にしよう」と友だちと飛び込む姿もありました。全身ドロドロになるまで遊ぶことができ大満足。

ダイナミックなあそびを通して、いろいろな経験を子どもたちに伝えたいと思います。



にじ組



色水あそびやどろんこあそびを楽しんでいる日々です。砂場に穴を掘り、そこに水を入れ水たまりを作るときゅうぎゅうになりながら嬉しそうに入る子どもたちです。職員がホースで水をかけると子どもたちも反撃をし、子どもも大人も全身びしょぬれになり、心も身体も開放しながら遊んでいます。

心と身体の両面が充実していて、今をもっともよく生きていることも。そんなイメージです。それぞれのもっている基礎的な生きる力をしっかりと耕し、身体づくりに積極的に取り組みます。そして、いろいろな経験を積み重ね、子どもが自分自身の身体を思いどおりに使いこなせるようになってほしいと思います。

何でもしてみようとする意欲にあふれ、好奇心の強い子こそ、生き生きとしている子だと思います。



はなゆき組



たんぽぽグループ

セミがたくさん鳴く季節になり、子どもたちもセミ捕りに夢中になっています。手で捕まえられる子、触ることが出来る子とセミに対して怖い気持ちより好奇心の方が大きいようです。

木に止まっているセミを見つけると「おっ！取って！」と保育者を呼ぶ子もいたため、虫取り網を渡してみました。セミが木と網の間から逃げてしまうこともあり苦戦しながら何度も挑戦し、見事捕まえられた時には大喜びで網の中を覗いていました。この夏、何匹自分で捕まえられるかな。何でもやってみようとしている子どもたちの姿を見守りながら、大人も一緒に驚いたり喜んだりしたいです。



暑い日が続く、水あそびや片栗粉あそびなどを楽しんでいます。感触を手や身体全体で楽しむ姿はとても楽しそうです。最初は触ろうとしなかった子も、友だちが触っている姿を見ながら「ちょっと触ってみようかな？」と手を伸ばしています。水分補給をしながら、これからも夏ならではのあそびを思う存分楽しみたいです。